



東亜グラウト工業は、埼玉県内で初めて「アイスピグ管内洗浄工法」が採用されている白岡市の下水圧送管洗浄現場を公開した。写真：同工法

東亜グラウト

白岡市で現場公開

埼玉初のアイスピグ工法

東亜グラウト工業は、埼玉県内で初めて「アイスピグ管内洗浄工法」が採用されている白岡市の下水圧送管洗浄現場を公開した。同工法は、近隣の12自治体から職員約30人と同社の関係者らが多数参加した。

対象管路は径150ミリの鉄管で、洗浄距離は542メートル。運用開始から30年程度経過し、きょう雑物が堆積している可能性や圧送管排出先の硫

化水素発生に伴いマンホール浄が可能で負担が少ない。などのメリットを説明した。

洗浄作業では、アイスシャワーベットの注入から約20分後に下流の回収口にピグが到達した。参加者らは回収したピグが汚れを取り込み黒く濁っている状況が、洗浄された流水に変化した瞬間を目の当たりにし、洗浄能力の高さに感嘆の声を上げた。

係者に対し、▽長距離配管の洗浄を一度に実施▽氷を主剤とするため管内で詰まるリスクがない▽伏越部や複雑な配管に溜まるきょう雑物や付着物の洗浄が可能▽短時間で洗っていた。

白岡市の担当者は「当初、圧送管がこんなに汚れているという認識はなかった。今回の洗浄作業でかなりの効果があることが分かった」と話していた。